

<先週のメッセージより>

「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」ミカ5：2【新改訳2017】

本書の記者ミカは、紀元前700年代に活動した預言者です。その頃のイスラエルといえば、北イスラエルはアッシリアによって滅亡、南ユダはそれを横目に不安と恐れの中の中にいた時代です。そんな真ただ中に、今日の御言葉は語られました。そしてそれは700年後、ベツレヘムにおいて成就したのです。そう、それはイエス様のお誕生です。新約聖書にはこのミカ書の御言葉が引用され、はっきりとそのことを私たちに伝えていきます(→マタイ2：6)。恐れと不安の中に語られたのは、希望でした。その時代の人々にとってそうだったように、イエス様の誕生は、今を生きる私たちにも希望を与えます。

先週、とても興味深いニュースを見ました。オレゴン州にある書店が香水を発売し、それがとてもよく売れているそうです。「どうして書店が香水？」と思うのですが、その香水からは本の匂いがするというのです。今は自由に本屋に行って時間を過ごすことが出来ない、だからせめてこの懐かしい匂いで「いつかまた」という希望を持って欲しいと、こういうことなのだそうです。

今の時代、誰もが希望を求めています。そして本物の希望が、ここにあります。希望の到来、イエス様のお誕生を心から待ち望みましょう

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



< 主の祈り >

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

< 使徒信条 >

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2020年11月22日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2：15

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

